

パワーポイントのスライドとノート表示をPDFファイルにする方法

目次：

1. [Adobe PDF をプリンタとして使用するための設定](#)
2. [パワーポイントを PDF にするための準備](#) (ここも重要である！)
3. [PP ノート表示を PDF にする作業方法](#) (ここからが一番失敗が多い！)
4. [作成された PDF の確認](#)
5. [PDF の完成](#)

蛇足：[試行錯誤の作業記録](#)： PP のノート画像を PDF にするときのトラブル

- ポイント：
- ① プリンタとして使う Adobe PDF の設定： 手順(1) + 手順(2)
 - ② 「最終版」としたファイルを使う： 手順(3)

1. Adobe PDF をプリンタとして使用するための設定

*これは一度しておけば設定が残るはずだが、念のために確認する。

すべきこと	作業手順	処理が必要な理由
作業開始	<p>① PDF にしたいファイルが開いていたら、閉じてから作業を始めること。</p> <p>② この作業はメモリを大量に使用する。</p> <p>対策：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 長時間 PC を使っていたときは、作業を始める前に再起動する。 ➢ インターネット回線ははずしておいた方が良くも知れない (途中でダウンロードなどを始められると困るから)。 	<p>← 作業を行う場所</p> <p>Adobe PDF を設定する準備</p>
Adobe PDF プリンタの確認	<p>● 次の(1)と(2)は、一度だけすれば設定は残るはずだが、念のために作業直前に正しい設定になっているかどうかを確認する。</p> <p>確認は、次の2つである：</p> <p>(1) フォントの指定</p> <p>(2) 用紙の指定</p>	
(1) フォント指定	<p>① スタートボタンを押し、右の欄にある「プリンタ」をクリックする。(ない場合は、コントロールパネルで「プリンタ」の設定を選ぶ)</p> <p>② プリンタの一覧が出たら、「Adobe PDF」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ。</p> <p>③ プロパティの窓が開く。全般タブが開いているので、ページの下にある印刷設定のボタンを押す。</p> <p>④ [Adobe PDF 印刷設定]の窓が開き、Adobe PDF 設定のフォルダが選ばれている。</p> <p>⑤ 次のところにチェックが入っていたら、✓なしにする。</p> <p>□ システムのフォントのみを使用し、文書のフォントを使用しない</p>	<p>➢ PP で使用するフォントをそのまま使うようにする設定。</p> <p>➢ Adobe の PDF には指定されたフォントがあるので、それ以外のフォントを PP で使っていた場合には勝手にフォントを直してしまう。そのため、フォントを PDF ファイルと一緒に保存することが必要である。</p> <p>➢ 他にチェックが入っているのは、「結果の Adobe PDF を表示」、「文書情報を追加」、「成功したジョブのファイルを削除」とする。</p> <p>➢ 設定をし直すと、「Adobe PDF</p>

	⑥ OK をクリックする。	印刷設定」の窓の文字が異常に大きくなるが、後で普通に戻る。
	⇒ 「Adobe PDFのプロパティ」に戻るので、 そのまま次の作業に移る。	
(2) 用紙指定	<p>(1)の最後にOKを押すと、「プロパティ」の窓の全般フォルダの画面に戻る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ページ右側の大きな枠（利用可能な用紙）が空欄になっていることを確認する。 もしも「A4」などの文字が入っていたら、次の作業をする。空欄なら、窓を閉じて良い。 <p>① 同じページで、デバイスの設定フォルダをクリックする。</p> <p>② ハイライトしている「標準トレイ」の右が「A4」となっていたら、その右にある▼をクリックし、A4の代わりに「使用しない」を選択する（デフォルトは「A4」。適用をクリックする。OKをクリックする。 Adobe PDFのプリンタが閉じられる</p> <p>③ プリンタの一覧が入っているフォルダを閉じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ノート欄をPDFにするときには必須！ ➢ ノート欄をPDFファイルすると、デフォルト設置（A4）のままではPDFファイルとPPの内容にはズレが出てしまう（図形と文字が重なるなど）。これをすると同じレイアウトでPDFになる。 ➢ 用紙の指定を「指定しない」にするのがポイント！ ➢ (1)のところで使ったAdobe PDF設定にある「Adobe PDFのページサイズ」を確認してみると、「A4」が指定されているが、このままで良い。
	⇒ すぐにはPDFの作成を始めずに、次の(3)の手順を守ること！	

2. パワーポイントをPDFにするための準備 **（ここも重要である！）**

	作業手順	注意／処理が必要な理由
(3) PDF変換を始める前の準備	<p>① デスクトップに新しいフォルダを作成する。フォルダの名前は「PDF作成」などとしておく。</p> <p>② PDFにしたいPowerPointのコピーを作成し、①のフォルダに入れる。（原本は別に保管しておくこと！） コピーの作り方： 原本を右クリックして「コピー」、コピーを入れるフォルダ（PDF作成）の上で右クリックし、「貼り付け」を選ぶ。</p> <p>③ コピーしたファイル（PP）を開き、それを「最終版にする」。</p> <p>最終版作成方法：</p> <p>A) リボンの右上にあるマイクロソフトのアイコンをクリックする。</p> <p>B) 「配布準備」の右にある▶ ボタンをクリックする。</p> <p>C) 右に出た中にある「最終版にする」をクリックする。「このプレゼンテーションを最終版として保存されます」の窓が出るので、OKをクリックする。</p>	<p>必ずコピーを使ってPDFに変換し、原本は別に保管しておくこと！</p> <p>作業中、PPは勝手にレイアウトを変更してしまうのである。 十分に注意すること！</p> <p>最終版したファイルは、別に作られるのではなく、そのファイルが最終版として残る（直前のファイルは消える）。</p> <p>最終版にした後、本当にそうだったかを確認するには、プロパティを開くと、状態が「最終版」と記載されている。</p> <p>「最終版」は、「読み取り専用」とはことなる。 最終版にしたファイルのアイコンを右クリックして「プロパティ」を見たとき、「読み取り専用」にはなっていない。</p> <p>最終版になったファイルは、書き直しや削除はできない。従って、PDFに変換するときにレイアウトが勝手にずれてしまうことを防げる！</p>

3. PP ノート表示を PDF にする作業方法 **(ここからが一番失敗が多い!)**

	作業手順	注意/処理が必要な理由
<p>(4) PDF 変換作業</p>	<p>① PDF 変換用にコピーした PowerPoint のファイルを開く。</p> <p>② レイアウトのズレが出やすいノートページを開く。失敗してやり直すときは、特にレイアウトがずれたページを開く。</p> <p>③ あたかも PowerPoint を印刷するときのように手続きをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ名: Adobe PDF ● 印刷対象: ノート ● カラー/グレース: カラー ● クリックを入れるもの: <ul style="list-style-type: none"> ✓ 用紙に合わせる ✓ 非表示スライドを印刷する (ある場合のみ) </div> <p>④ 印刷の設定ができれば OK をクリックする。</p> <p>⑤ [PDF ファイルの保存] のウィンドウが開く。ファイル名もと同じ名前が入っているので、作業用に作成したフォルダ (PDF 作成) を指定し、保存 をクリックする。</p> <p>⑥ 「Adobe PDF 作成中」の窓が現れる。 このとき、レイアウトがずれた状態で PDF 変換が行われるようになっていないかをチェックする。</p> <p>チェック方法 (次の場合は中断する):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● このウィンドウが開くまでの時間が長いときは、勝手にレイアウトを変えてしまっている可能性が大きい。順調なら、すぐにウィンドウが開く。 <p>失敗を PDF になる前に知ることができる:</p> <p>次の場合は、レイアウトがずれている証拠なので、保存 する必要はない。ファイルを閉じて、始めからやり直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ずれそうなページのノートを表示しておいて印刷しようとしたとき、印刷ウィンドウが開くと同時にノートの表示を見る。これがずれていれば、出来上がった PDF にもレイアウトのズレがでることは確実である。 ● 印刷ウィンドウが開いたとき、PP の右上にある「戻る」ボタンを見る。戻るボタンがハイライトして、もとのファイル内容に戻れるようになっていたら、レイアウトが勝手に変わってしまった証拠である。 <p>⑦ 問題がなければ、保存ファイル名を決め (PP と同じで良い)、ファイルを保存する場所を選び、保存 をクリックする。ファイル変換の進行状況が表示されるので、終了するまで待つ。</p>	<p>指定するプリンタは「Adobe PDF」!</p> <p>➤ 「用紙に合わせる」を指定した方が、PDF に変換されたときの余白 (左右上下) が少なくてきれいである。</p> <p>← PP が PDF に変換したときのファイル名の指定である。</p> <p>* 画面下に「○ページを印刷中」の緑色の帯が見えるので、ここでも進行中は確認できる。 2つの進み具合報告がずれている場合には、PDF でなくテキストファイルで保存されているはずだ。</p> <p>(3)の手順で「最終版」にしていないと、レイアウトがずれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保存するファイル名を決めるウィンドウが開く前に、画面下に「印刷中」の緑の帯が出てページが進んでいくようなら、少し怪しいと見るべきであろう。 ● 保存する場所が存在しないところが選ばれて (自分で選ばなかった場合)、エラーメッセージが出るので注意。

	<p>* ファイルを分割して PDF にする場合には、ファイル名の後にナンバーを追加しておく。</p> <p>⑥ 印刷（実際には変換）が終了すると、作成された PDF が開く。</p> <p>* 大きく開かずに、画面下のツールバーにハイライトされた PDF ファイル名が出るだけのこともあるので注意！</p>	
	<p>注意：</p> <p>➢ ノート欄を変換したとき、PDF でなくメモの形でファイルが作成されてしまうことがある。</p> <p>この場合は、開いている PP を閉じ、PP を開きなおしてから作業をする。</p> <p>PP ファイルを閉じるときには、変更を保存しないこと！。</p>	
	⇒ PDF が作成されたら、内容をチェックする (5) に進む	

4. 作成された PDF の確認

(5) 作成された PDF の確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 作成された PDF を開き（開いたならそのまま）、原本と違いがないかを比較チェックする。 <p>(3) と (4) を正しく守らなかった場合には、レイアウトが狂っている可能性が大であるので、大まかにチェックしてみて、レイアウトが狂っていたら初めからやり直す。</p>
	<p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Adobe PDF プリンタを設定してあれば、レイアウトのずれは原則的にはないはずである。しかし、レイアウトがずれることがあるので、1 ページずつ比較してチェックすること。ずれるのは、ノート欄がベタ書きではなく、四角の枠をはめ込んだものなどである。 ● ファイルが大きい場合には、分割しないと不可能なこともある。30 ページずつくらいにすれば問題ない。 <p>失敗の症状：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エラーメッセージが出て PDF は作成されない。 ● PDF と PP の画面が異なり、レイアウトがずれる： (2) で説明した手順をしていない場合（用紙トレイをデフォルトの A4 にしているのが原因） ● PDF でなく、テキストでファイルができてしまう： 原因不明 ● 白紙の PDF ができる： 原因不明 <p>注意と対策：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ Adobe Acrobat は未完成品である。できたり、できなかったりするのとは原因不明としか言いようがない。 ➢ PDF 作成が一発でできなかったときは、PP の「戻る」ボタンを確認する。戻るボタンがアクティブになっていたら、変更してしまった証拠である。 ● PDF 変換にはメモリを非常に使用する。100 ページを超える PP の場合は、ファイルを分割して変換し、後で分割したファイルを統合すると良いだろう（Adobe Standard で可能）。しかし、できないためにファイルを分割していたのに、試しに分割しないでやってみるとできてしまうことがある。

5. PDF の完成

(6) PDF の完成	<ul style="list-style-type: none"> ● PDF を開いて、「しおり（目次のこと）などをチェックする
	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイルを分割して作成した場合は、それぞれのファイル名が出来上がった PDF に目次として入っているの、それを削除すること！ ● 目次は手書きで入れる

蛇足： 試行錯誤の作業記録： PPのノート画像をPDFにするときのトラブル

以下は、問題が発生しない方法を見つけるまでの試行錯誤のときのメモにすぎない

■ノートをPDFにするときの失敗

効果	手段	してみたこと
あり	標準給紙を設定なしにする	デバイス設定では、デフォルトは「A4」が指定されている。これを「使用しない」に変更した。 これでレイアウトのズレはかなり直るが、全くなくなるわけではない。とくに行間が詰まっているところではズれる。
△	ファイルを分割して作る	かなり症状は改善される
なし	PPのページ設定で正しいA4にする。	PPのページ設定にはA4があるが、正確な数値ではない。21 x 29.7cmに直してみた。
なし	印刷設定	印刷設定で「用紙サイズに合わせる」をクリックを入れても、はずしても、ズレがでるページでは結果は同じ。 「用紙サイズに合わせる」にすると、PDFのページ余白が少なくて美しいページになる。
あり	レイアウトのズレが出たページの原板を直す	ズレを見ながらPPのレイアウトを変更する。何度か試して、ズレがすくないPDFを採用し、ズレがあったページと差し替える。 非常に手間がかかる！
？	図形を連結する	ズレがでるのは、ノート欄で、べた書きではなく枠などを挿入したものがズれるのである。入れた図形を連結してみた。効果があるような気もするが、これも非常に手間がかかる
あり	インデントを使わない (インデントの部分だけ改善)	ズレがでるのは、インデントを使った記号である。このインデントの設定によってズレが出ることは確認した。インデントを使うのを止めて、空白で処理する。

■ノートをPDFにしたときに、図形の影が荒くてきたなく問題

効果	手段	してみたこと
あり	PPの図形には影をつけない	印刷業者のサイトでは、影をつけてはだめだ と書いてある。
なし	アンチアラスを加える	デフォルトでは「なし」になっている。これをポイント指定で変更できる。 しかし変更しても影がきたないのは直らない
なし	印刷の質をあげる	PPの印刷画面で「影を出す」を指定しても何も変わらない。
なし	印刷の質をあげる	印刷画面の質で高品質、プレス用などを選ぶのだが、どれにしても影が醜くでることには代わりない。